NTT docomo

ご利用の前に必ずお読みください

SO-04Eのご利用にあたっての注意事項

安全上／取り扱い上のご注意

1273948020

'13.4（1版） 1273-9480.2

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末ではマナーモードに設定中でも、シャッター音、動画再生、音楽再生、アラームなどの音声、通話中のダイヤルパッド操作音や［通話終了］をタップしたときの音は消音されません。
- 画面ロック解除画面にオペレーター名が表示されます。
- お客様の電話番号（自局番号）は、ホーム画面でをタップし、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップして、「電話番号」で確認できます。
- 本端末のソフトウェアバージョンは、ホーム画面でをタップし、［設定］▶［端末情報］をタップして確認できます。
- パソコンからインターネットを経由してアップデートファイルを取得し、パソコンと本端末とを接続することでソフトウェアを更新することができます。詳細は、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。
- 本端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。詳細は、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Google Playなどの Googleサービスや Facebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。

- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- Googleアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  http://www.nttdocomo.co.jp/
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止 **高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。（衣服のポケットに入れる等して身につける場合も含みます。）**
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止 **電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止 **分解、改造をしないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止 **水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P.21「防水／防塵性能」

指示 **本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止 **強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 **卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 **使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどの原因となります。

指示 **ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示 **使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。**
・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
・本端末の電源を切る。
・電池パックを本端末から取り外す。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**
落下して、けがの原因となります。

禁止 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。**
けがなどの原因となります。

指示 **乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示 **本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。**
充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止 **赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。**
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止 **赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。**
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止 **ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。**
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止 **本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 **自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。**
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示 **航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。**
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。
電源オフ時に、本端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブルで接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブルで接続を行わないようご注意ください。

指示 **ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。**
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示 **心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。**
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。**
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示 **万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。**
ディスプレイ部の表面には、飛散防止フィルムを貼った強化ガラスを使用し、カメラのレンズの表面には、アクリル樹脂を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止 **アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。**
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止 **本端末が破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 **モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。**
けがなどの事故の原因となります。

禁止 **誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示 **自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 **お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**
各箇所の材質について→P.13「材質一覧」

指示 **ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。**
視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止 **端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **火の中に投下しないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示 **電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
失明の原因となります。

⚠警告

禁止 **落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示 **電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示 **ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止 **一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止 **濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示 **電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止 **アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。**
感電の原因となります。

禁止 **コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止 **コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。**
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示 **DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示 **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示 **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く **長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く **万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示 **ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。**
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示 **医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。**
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
・病棟内では、本端末の電源を切ってください。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示 **満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7. 材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（側面カバー）	PA樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
外装ケース（リアカバー）	PC樹脂（ガラス入り）	ウレタン塗装処理
外装ケース（ヘッドセット接続端子カバー）	PC樹脂（ガラス入り）	ウレタン塗装処理
外装ケース（microUSB接続端子カバー）	PC樹脂（ガラス入り）	ウレタン塗装処理
側面パネル	PET樹脂＋PC樹脂	ハードコート処理
透明板（カメラ）	PC＋PMMA樹脂	AR処理
透明板（フラッシュ）	PC樹脂	—
透明板（ディスプレイ）	ガラス+PET樹脂	ハードコート処理
化粧リング（電源キーカバー、カメラ）	アルミニウム合金	陽極酸化皮膜処理
サイドキー（電源キー、音量キー、カメラキー）	アルミニウム合金	陽極酸化皮膜処理
モバキャス／ワンセグアンテナ（キャップ）	PC樹脂（ガラス入り）	—
モバキャス／ワンセグアンテナ（シャフト上）	SUS	—
モバキャス／ワンセグアンテナ（シャフト中）	SUS	—
モバキャス／ワンセグアンテナ（シャフト下）	ニッケルチタン	—
モバキャス／ワンセグアンテナ（ヒンジ）	SUS	—
電池パック（端子部分）	銅合金	ニッケル下地メッキ／金メッキ
電池パック（本体）	PC樹脂	—
電池パック（ラベル）	PET樹脂	—
卓上ホルダ（上ケース）	ABS樹脂	—
卓上ホルダ（下ケース）	ABS樹脂	—
卓上ホルダ（レバー）	POM樹脂	—
卓上ホルダ（接触端子）	りん青銅	金メッキ
卓上ホルダ（ラベル）	ポリエステル樹脂	—
卓上ホルダ（ゴム足）	ポリウレタン樹脂	—
卓上ホルダ（ネジ）	SWCH	黒クロメートメッキ

取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- **SO-04Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

■ 本端末についてのお願い

- **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチスクリーンが破損する原因となります。

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ 電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

■ アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードについてのお願い

- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。

- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

■ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

  2.4FH1/XX8/DS4/OF4

  2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
  FH/XX/DS/OF：変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。
  1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
  4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
  8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
  ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
  利用可能なチャンネルは国により異なります。
  航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  - 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

  - 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  - その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

  - その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 5GHz機器使用上の注意事項
  日本で使用できるチャンネル番号と周波数は次のとおりです。

	チャンネル番号（Ch）	周波数（MHz）
5.2GHz帯	36	5,180
	40	5,200
	44	5,220
	48	5,240
5.3GHz帯	52	5,260
	56	5,280
	60	5,300
	64	5,320
5.6GHz帯	100	5,500
	104	5,520
	108	5,540
	112	5,560
	116	5,580
	120	5,600
	124	5,620
	128	5,640
	132	5,660
	136	5,680
	140	5,700

5GHzワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。

Wi-Fi CERTIFIED

■ FeliCaリーダー／ライター機能についてのお願い

- 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

■ 注意
- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊦」が本端末の電子銘版に表示されております。電子銘版は、ホーム画面で をタップし、[設定]▶[端末情報]▶[法的情報]▶[認証]をタップしてご確認いただけます。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は、罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SO-04Eは、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。
※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSO-04Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

■ **SO-04Eが有する防水／防塵性能でできることについては、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。**

■ **防水／防塵性能を維持するために**
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。
- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバーの開閉については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 送話口（マイク）、受話口、スピーカー、フラッシュ／フォトライト／セカンドマイク、ストラップホールなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

■ **ご使用にあたっての注意事項**
次の注意事項を守って正しくお使いください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定以上の強い水流（6L／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。SO-04EはIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。

- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 送話口（マイク）、受話口、スピーカー、フラッシュ／フォトライト／セカンドマイク、ストラップホールに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

■ **水抜きについて**
本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがあります。水抜きの方法については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。

■ **充電の注意事項については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。**

携帯電話機の比吸収率などについて

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

About Open Source Software／オープンソースソフトウェアについて

輸出管理規制／知的財産権について

携帯電話機の比吸収率などについて

Mobile phone: GSM/GPRS/EDGE 850/900/1800/1900 & UMTS/HSPA B1/5/6/19 & LTE B1/19/21

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SO-04Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.99W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモもしくは製造メーカ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモもしくは製造メーカ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/
※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

以下の内容に関しては、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。
- Guidelines for Safe and Efficient Use
- FCC Statement for the USA

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

Important Information United States

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED INCOMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
The SO-04E Series mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User Guide.
The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 1.05 W/kg*, and when worn on the body is 1.42 W/kg*. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
For devices which include "WiFi hotspot" functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10 mm.
Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.
** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by

the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCCID PY7PM-0320. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

* In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SO-04E has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.
While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.
SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):
The highest SAR value for this model phone tested by Sony Mobile Communications AB for use at the ear is 0.99 W/kg (10g).

Declaration of Conformity for SO-04E

CE 0682 ⓘ

The Product "SO-04E" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/doc/.

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and licensors.
Sony Mobile grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed. Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.
This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated by transferring your rights to the Device to a third party in writing.
Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.
Sony Mobile and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms. This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.

In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、Sony Mobile Communications AB（以下「ソニーモバイル」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。
本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。
お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

About Open Source Software／オープンソースソフトウェアについて

About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and some other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at http://opensource.sonymobile.com.

Sony Mobile offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Mobile.

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけるほか、http://opensource.sonymobile.comでも参照いただけます。

ソニーモバイルは、Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用

（メディア費用、物流費用、取扱い費用等）を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニーモバイルにより販売されてから3年間有効なものとします。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「デコメ®」「spモード」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「iチャネル」「おサイフケータイ」「公共モード」「エリアメール」「iコンシェル」「マチキャラ」「Xi」「Xi／クロッシィ」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。

- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Xperia」は、Sony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Media Software and Servicesの商標または登録商標です。
- 「Sony」「WALKMAN」「FeliCa」はソニー株式会社の登録商標です。
- "POBox"および"POBox"ロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。
"POBox"は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- はNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Google Play」「Google Play」ロゴ、「Gmail」「Googleトーク」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- "DLNA"、"DLNA"ロゴはDigital Living Network Allianceの商標または登録商標です。
- MHL、Mobile High-Definition LinkおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Windows Media」「PlayReady」と「ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReadyコンテンツアクセス技術を使用することで、著作権で保護されたコンテンツも含め、知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又はWMDRMにより保護されたコンテンツにアクセスをします。本製品がコンテンツ使用制限を適切に実施できない場合、当該コンテンツ権利者は、Microsoftに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使用する本製品の機能を無効化するよう申し入れることがあります。この無効化はPlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツへのアクセスに必要なPlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを行わない場合、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。（i）MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または（ii）商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, L.L.Cより入手できます（http://www.mpegla.comを参照）。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

お問い合わせ先

◎ご不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

■ **総合お問い合わせ先<ドコモ インフォメーションセンター>**

ドコモの携帯電話からの場合	一般電話などからの場合
（局番なしの）**151**（無料）	0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。	※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）
・番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

◎ 故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

■ **故障お問い合わせ先**

ドコモの携帯電話からの場合	一般電話などからの場合
（局番なしの）**113**（無料）	0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。	※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）
・番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社